

# 令和4年度における新型コロナウイルス感染症対策事業の状況

※赤字の事業は、特記すべきものとして、詳細資料を合わせて掲載しております。

(単位：千円)

事業名	概要	事業費	財源内訳				一般財源
			国		府・その他	地方債	
			補助金等	地方創生臨時交付金			
<b>1 生活支援対策</b>		<b>124,585</b>	<b>55,618</b>	<b>68,940</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>27</b>
地域内消費拡大事業	プレミアム付商品券の発行支援	64,685		64,685			0
住民税非課税世帯等への臨時特別給付金	住民税非課税世帯への特別給付金の支給【国事業】	34,040	34,040				0
子育て世帯生活支援特別給付金事業、子育て世帯への臨時特別給付金事業	ひとり親世帯、低所得のふたり親世帯等への特別給付金の支給【国事業】	20,687	20,687				0
コロナ感染自宅療養者支援事業	コロナ感染自宅療養者への生活応援パックの支給	4,255		4,255			0
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業	特例貸付を利用できない生活困窮者への自立支援金の支給【国事業】	810	810				0
生活困窮者自立支援事業	住宅確保給付金の支給【国事業】	108	81				27
<b>2 子育て支援・教育環境充実対策</b>		<b>12,639</b>	<b>259</b>	<b>12,380</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
子育て世帯等支援商品券事業	子育て世帯、出産を迎える世帯への商品券の配布	8,766		8,766			0
宮津の新たな学び創造事業	算数学び定着サポーターの配置、ICT環境の活用促進等	3,331	259	3,072			0
のびのび放課後児童クラブ事業	換気機能付き空調の設置	542		542			0
<b>3 経営支援対策</b>		<b>12,837</b>	<b>0</b>	<b>11,413</b>	<b>1,424</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
公共交通事業者支援事業	公共交通事業者への事業継続支援、観光列車の改良等KTR利用促進に対する支援	5,899		5,899			0
農産物等流通促進事業	地元農産物の域内流通促進に向けた調査等	2,980		2,980			0
介護従事者負担軽減支援事業	介護ロボット等の導入支援	2,534		2,534			0
新型コロナウイルス対応資金特別支援事業	新型コロナウイルス対応融資に係る利子補給	1,424			1,424		0
<b>4 新しい生活様式への対応</b>		<b>61,221</b>	<b>9,696</b>	<b>46,126</b>	<b>5,352</b>	<b>0</b>	<b>47</b>
デジタルトランスフォーメーション推進事業 戸籍住民基本台帳管理運営事業	転入・転出手続きワンストップ化、庁内事務省力化システム(AI-OCR等)の導入	26,640	1,196	20,092	5,352		0
関係人口創出・拡大事業	前尾記念クロスワークセンターMIYAZU進出企業と地元事業者等との連携事業への支援	17,000	8,500	8,500			0
副業・兼業プロ人材活用事業	未来戦略マネージャーの活用、都市部と地元企業との交流促進支援	15,161		15,114			47
シティプロモーション事業	文化・歴史行事等のデジタルコンテンツ制作による情報発信力の強化	2,420		2,420			0
<b>5 感染防止・健康保持対策</b>		<b>130,411</b>	<b>95,547</b>	<b>24,105</b>	<b>10,408</b>	<b>0</b>	<b>351</b>
新型コロナウイルスワクチン接種事業	ワクチン接種の体制確保、接種実施【国事業】	83,035	82,779		256		0
新型コロナウイルス感染拡大防止事業	公共施設等の感染防止対策、福祉施設の感染防止対策支援	31,959	6,423	15,033	10,152		351
地域医療推進事業	医療車両を活用したオンライン診療等導入に向けた実証	12,689	6,345	6,344			0
海水浴場管理運営事業	海水浴場における感染防止対策	1,950		1,950			0
予防接種事業	子ども及び妊婦のインフルエンザワクチン接種支援	778		778			0
<b>6 経済回復対策</b>		<b>189,393</b>	<b>47,090</b>	<b>95,321</b>	<b>46,946</b>	<b>0</b>	<b>36</b>
持続可能な観光地域づくり事業	「宮津市観光戦略」に基づく観光地の再生・高付加価値化の推進、専門人材の配置等	119,239	47,090	25,167	46,946		36
宮津天橋立観光V字回復推進事業	エール花火、観光キャンペーン等による観光誘客、モノオペラ「ガラシャ」開催	65,930		65,930			0
魅力ある商いづくり事業	事業者の販路開拓、デジタル化等への支援	2,720		2,720			0
夜のにぎわい回復推進事業	夜間のタクシー増車に係る支援	1,504		1,504			0
<b>7 その他(市単独のコロナ対策に係る人件費)</b>		<b>3,049</b>	<b>0</b>	<b>3,049</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
合計		534,135	208,210	261,334	64,130	0	461

# 令和4年度における原油価格・物価高騰対策の状況

※赤字の事業は、特記すべきものとして、詳細資料を合わせて掲載しております。



(単位：千円)

事業名	概要	事業費	財源内訳				一般財源
			国		府・その他	地方債	
			補助金等	地方創生臨時交付金			
<b>1 生活支援対策</b>		<b>123,647</b>	<b>123,550</b>	<b>97</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業	住民税均等割非課税世帯への緊急支援給付【国事業】	123,550	123,550				0
プレミアム付商品券発行事業	プレミアム付商品券の発行支援	97		97			0
<b>2 子育て支援</b>		<b>28,490</b>	<b>0</b>	<b>27,055</b>	<b>1,435</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
子育て世帯生活応援給付金事業	子育て世帯への応援給付金の支給	20,441		20,441			0
出産応援給付金事業	出産を迎える世帯への応援給付金の支給	5,600		5,600			0
保育所運営事業、学校給食運営事業、給食費高騰対策支援事業	物価高騰による給食費高騰への支援	2,449		1,014	1,435		0
<b>3 経営支援対策</b>		<b>48,806</b>	<b>0</b>	<b>48,806</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
事業者原油・物価高騰対策支援事業	事業者への光熱費・肥料代支援	44,645		44,645			0
公共交通事業者支援事業	公共交通事業者への燃料費支援	4,161		4,161			0
<b>4 その他（公共施設の物価高騰対応）</b>		<b>15,648</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>15,648</b>
合計		216,591	123,550	75,958	1,435	0	15,648

(単位:円)

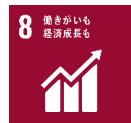
事業名	プレミアム商品券の発行支援 (地域内消費拡大事業)			充実	総計重点 プロジェクト	—		テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり															
					施策分野	商工業振興																		
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源															
2,850 千円	65,593 千円	70,000 千円	70,000,000	64,685,000	64,685,000				0	— 千円														
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																				
背景・経緯	新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い業種において売上が減少するとともに、市民生活に大きな影響が生じている。			事業実績	<b>■プレミアム付き商品券の発行支援 64,685,000円</b> ○プレミアム付き商品券の概要																			
					<table border="1"> <tr> <td>発行内容</td> <td>商品券13,000円分を10,000円で販売(プレミアム率30%) 発行総額2億6,000万円(2万セット)</td> </tr> <tr> <td>商品券の内容</td> <td>2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券(5,000円):店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券(8,000円):全ての店舗で使用</td> </tr> <tr> <td>購入制限等</td> <td>一人あたり5セット(5万円)まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能</td> </tr> <tr> <td>販売方法</td> <td>特設会場販売:6月4日(土)、6月5日(日)宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売:6月6日(月)市内12箇所(宮津商工会議所ほか)</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td>令和4年6月4日(土)~9月5日(月)</td> </tr> <tr> <td>取扱店舗</td> <td>本事業の趣旨に賛同した288事業所(市内330店舗)</td> </tr> <tr> <td>回収額</td> <td>259,685千円(回収率:99.88%)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>お楽しみ抽選会の実施(地元産品など54品) 商品券利用者に対する店舗独自の特典、サービスの実施(77事業所)</td> </tr> </table>						発行内容	商品券13,000円分を10,000円で販売(プレミアム率30%) 発行総額2億6,000万円(2万セット)	商品券の内容	2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券(5,000円):店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券(8,000円):全ての店舗で使用	購入制限等	一人あたり5セット(5万円)まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能	販売方法	特設会場販売:6月4日(土)、6月5日(日)宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売:6月6日(月)市内12箇所(宮津商工会議所ほか)	有効期間	令和4年6月4日(土)~9月5日(月)	取扱店舗	本事業の趣旨に賛同した288事業所(市内330店舗)	回収額	259,685千円(回収率:99.88%)
発行内容	商品券13,000円分を10,000円で販売(プレミアム率30%) 発行総額2億6,000万円(2万セット)																							
商品券の内容	2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券(5,000円):店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券(8,000円):全ての店舗で使用																							
購入制限等	一人あたり5セット(5万円)まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能																							
販売方法	特設会場販売:6月4日(土)、6月5日(日)宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売:6月6日(月)市内12箇所(宮津商工会議所ほか)																							
有効期間	令和4年6月4日(土)~9月5日(月)																							
取扱店舗	本事業の趣旨に賛同した288事業所(市内330店舗)																							
回収額	259,685千円(回収率:99.88%)																							
その他	お楽しみ抽選会の実施(地元産品など54品) 商品券利用者に対する店舗独自の特典、サービスの実施(77事業所)																							
目的・目標	低調基調が続く市内消費の喚起・拡大及び市民生活支援を行うため、プレミアム付き商品券を発行する宮津商工会議所に支援を行う。			成果	商品券を契機とした地域内の消費喚起・拡大による市内事業所の経営支援を行うとともに、プレミアム率の付与による市民の家計負担の軽減を図ることができた。																			
期待される効果等	地域内の消費喚起及び家計への支援に資する。				課題・検証																			
				長引くコロナ禍に加え原油価格・物価高騰など、先の見えない経営環境下で、引き続きの市内事業所支援・市民の生活支援を行う必要がある。																				
				担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	0772-45-1663	43																



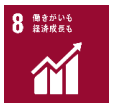


事業名	子育て世帯等への応援商品券の配布 (子育て世帯等支援商品券事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	—		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算 ※前年度繰越含む	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳				R5予算	
— 千円	— 千円	9,500 千円	9,500,000	8,765,710	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円
					8,765,710				0	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3.11.19 : 国が「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を閣議決定</li> <li>・R3.12.24～ : 国経済対策を受け、子育て世帯への臨時特別給付金(現金10万円)を対象者に給付</li> </ul>			事業実績	<p>■子育て世帯・出産を迎える世帯への応援商品券の配布 8,765,710円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商品券換金額 7,328,000円 (1,000円×7,328枚)</li> <li>○事務費 1,437,710円 (業務委託料、郵送料)</li> <li>○換金事業所 市内122事業所</li> </ul> <p>【配布概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①中学校3年生までの児童 1,555人×商品券5,000円分=7,775,000円</li> <li>②母子健康手帳の交付を受けている方 35人×商品券5,000円分= 175,000円</li> </ul> <p>計7,950,000円 ※換金率92.2%</p>					
	目 的 ・ 目 標	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、その影響を受けている子育て世帯や出産を迎える世帯に対し、応援商品券を配布する。			子育て世帯等応援商品券を配布することで、子育て世帯等の経済的負担を軽減するとともに、地域内の経済循環と消費喚起を図った。					
期 待 される 効果等	家計への支援を行うことにより、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に伴う子育て世帯や出産を迎える世帯の経済的負担を軽減する。			成 果						
	 				課 題 ・ 検 証					
				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621	47		

(単位:円)

事業名	天橋立名勝100年・特別名勝70年記念誘客イベントの開催 (宮津天橋立観光V字回復推進事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	経済力が高まるまちづくり			
					施策分野	観光振興					
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算	
— 千円	— 千円	— 千円	2,074,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		0
				2,072,416	2,072,416						
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背景・経緯	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、本市の観光需要は落ち込み、飲食や宿泊等の観光業の売上げが著しく減少。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4.3 天橋立の国の名勝指定から100周年</li> <li>・R4.5 田中彩子モノオペラ「細川ガラシャ」天橋立公演実行委員会設立</li> <li>・R4.11 天橋立の国の特別名勝指定から70周年</li> </ul>			事業実績	<p>■天橋立名勝100年・特別名勝70年記念誘客イベント 田中彩子モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施支援 2,072,416円 モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施、及び中学生との交流会の実施を支援した。</p> <p>【事業実績】</p> <p>①田中彩子モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演の実施 ○日時：令和4年9月21日(水) 第一部：17:30～/第二部：20:00～ ○場所：天橋立公園内特設会場 ○観客数：374名(第一部：224名/第二部：150名)</p> <p>②「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式及び中学生との交流会の実施 ○日時：令和4年9月22日(木) 13:00～16:00 ○場所：宮津中学校体育館 ○内容：「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式、田中彩子氏ミニコンサート、中学生の合唱披露と田中彩子氏によるアドバイス、田中彩子氏との交流 ○参加者：98名(宮津中学校81名、栗田中学校17名)</p> <p>③実行委員会の開催(全3回) 実行委員会の設立、事業計画・予算、事業報告・決算報告、実行委員会の解散</p>						
目的・目標	<p>コロナ禍において本市の落ち込んだ観光需要を喚起するため、天橋立名勝100年・特別名勝70年の記念事業として、世界的に活躍されているソプラノ歌手の田中彩子氏による、本市と関わりの深い「ガラシャ」を題材としたモノオペラの開催による誘客イベントを実施し、天橋立の新たな魅力創出による誘客を目指すもの。併せて、天橋立で行うことにより、歴史的・文化的な魅力を国内外に広く発信し、世界遺産登録に向けた知名度向上につなげる。</p>			成果	<p>・天橋立名勝100年、特別名勝70年の記念事業として、本市と関わりの深い「細川ガラシャ」を題材としたモノオペラを天橋立で開催することにより、市民に天橋立の魅力や本物の芸術美を体感していただくとともに、国内外に対しても広くその歴史的・文化的魅力を発信し、世界遺産登録に向けた機運醸成につなげるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中で、本市の落ち込んだ観光需要の喚起にも寄与した。</p> <p>・中学生との交流事業を行い、次代を担う子供たちが世界的な本物の芸術美に触れることで、多様な文化に対する幅広い理解を深め、育むことに寄与した。</p>						
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光誘客による地域内消費の拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光消費額 R1：109億円 → R7：125億円</li> <li>・観光交流人口 R1：321万人 → R7：350万人</li> </ul> </li> <li>・天橋立の新たな価値の発見や魅力の掘り下げ</li> </ul>			課題・検証	<p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <p>■観光交流人口 R4目標：335万人 ⇒ R4実績：232万人</p> <p>■観光消費額 R4目標：112億円 ⇒ R4実績：84億円</p> <p>・「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」を活用した「本物の芸術に触れる機会・体験する機会」の継続的な実施。</p>						
				担当部署	企画財政部 企画課 文化スポーツ振興係	TEL	0772-45-1718	45			



(単位:円)

事業名	夜間の公共交通の利便性向上による夜のにぎわい回復 (夜のにぎわい回復推進事業)			新規	総計重点 プロジェクト	—	テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり 安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり		
					施策分野	観光振興、商工業振興 公共交通				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	2,200,000		1,504,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
					1,504,000				0	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で営業縮小せざるを得ない状況にあったタクシー事業者への事業継続支援を令和2年度と3年度の9月補正予算にて実施したところ。</li> <li>まん延防止等重点措置が解除され経済回復局面に入ってはきているが、市内飲食店の客足の戻りがまだまだ不十分な状況にあることなどから、タクシー需要も戻りきっておらず、夜間の運行台数が限られている(2~3台の稼働になっている)中で、市内飲食店利用者の利便性の向上などが求められているところ。</li> <li>コロナ禍において落ち込んだ観光需要を喚起するために、宮津天橋立観光V字回復推進事業を展開しているところであり、加えて地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化に向けた取組を進めていくところ。</li> </ul>			事業実績	<p>■運行台数が減少している夜間のタクシー増車分への支援 1,504,000円 新型コロナウイルス感染症の影響でタクシー事業者が営業を縮小し、運行台数が減少している中、夜間の公共交通の利便性を向上して、夜のにぎわい回復につなげることを目的に、夜間のタクシー増車に係る支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援事業者 日本交通株式会社</li> <li>支援期間 R4.8~R5.3</li> <li>支援内容 夜間(金・土曜日と祝日の前日の20時から24時まで)におけるタクシー増車分について、4,700円/時間・台を支援</li> <li>増車台数 80台</li> </ul>					
目的・目標	本市の落ち込んだ観光需要を喚起するなどのコロナ禍における経済回復対策を展開している中で、今後の需要回復局面において、タクシーの供給を順調に回復するための支援を実施し、夜間の公共交通の利便性を向上して、夜のにぎわい回復につなげるもの。			成果	<p>夜間に利用できるタクシーの台数を増やしたことで、市内飲食店利用者の利便性の向上が図られた。</p> <p>[第7次宮津市総合計画 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■観光消費額 R4目標：112億円 ⇒ R4実績：84億円</li> <li>■観光宿泊客数 R4目標：70万人 ⇒ R4実績：46万人</li> <li>■公共交通利用者数 R4目標：174.2万人/年 ⇒ R4実績：155.6万人/年</li> </ul>					
期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人あたり観光消費額の向上</li> <li>安定的で持続可能な公共交通の確立</li> </ul> <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光消費額 R1：109億円 ⇒ R7:125億円</li> <li>観光宿泊客数 R1：64.9万人 ⇒ R7:80.0万人</li> <li>公共交通利用者数 R1：192万人 ⇒ R7:223.2万人</li> </ul>			課題・検証	<p>利用者の利便性は向上したが、利用が一定時間に集中するなど、運行の効率性に課題が残った。</p>					
  				担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		TEL	0772-45-1664		46

(単位:円)



事業名	子育て世帯生活応援給付金事業			新規	総計重点プロジェクト	—		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり	
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	21,000,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円				20,441,292	20,441,292					— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4.4: 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定</li> <li>・R4.7: 令和4年6月分の消費者物価指数において、前年同月比2.4%の上昇</li> </ul>			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子育て世帯生活応援給付金の支給 20,441,292円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○給付額 20,190,000円 (高校生までの児童1人あたり1万円×2,019人)</li> <li>○事務費 251,292円 (郵送料、事務用品他)</li> </ul> </li> </ul>					
目的・目標	コロナ禍において、食料品や電気・ガス料金をはじめとする急激な物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対し、生活応援給付金を支給する。			成果	子育て世帯に児童1人あたり1万円の生活応援給付金を支給することで、物価高騰等の影響に伴う経済的負担を軽減した。					
期待される効果等	家計への支援を行うことにより、物価高騰等に直面する子育て世帯の経済的負担を軽減する。				課題・検証					
 				担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621		51	

(単位:円)

事業名	出産応援給付金事業			新規	総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	6,500,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円
— 千円	— 千円	— 千円	6,500,000	5,600,000	5,600,000				0	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3.12～：子育て世帯への臨時特別給付金(児童1人あたり10万円)の支給</li> <li>・R4.4：国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定</li> <li>・R4.7：令和4年6月分の消費者物価指数において、前年同月比+2.4%の上昇</li> </ul>			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■出産応援給付金の支給 5,600,000円</li> <li>○給付額 5,600,000円</li> <li>(令和4年度中に生まれ、本市に住民登録した新生児1人あたり10万円×56人)</li> </ul>					
目的・目標	<p>コロナ禍において、急激な物価高騰の影響により、感染防止対策や出産に伴う経済的負担が大きい出産を迎えた世帯に対して、出産応援給付金を支給する。</p> <p>また、安心して妊娠・出産・子育てができ、若者が住みやすい環境を整える。</p>			成果	<p>出産応援給付金を支給することで、新生児がいる世帯の経済的負担を軽減した。</p>					
期待される効果等	<p>家計への支援を行うことにより、コロナ禍において物価高騰等に直面する新生児がいる世帯の経済的負担を軽減する。</p> <p>また、安心して出産・子育てができる体制の一助とすることで、少子化に歯止めをかける。</p>			課題・検証						
	 			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	0772-45-1621	52		



(単位:円)

事業名	給食費高騰への支援 (保育所運営事業、学校給食運営事業、給食費高騰対策支援事業)			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	住みたい、住み続けた いまちづくり		
					施策分野	子育て支援				
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算
— 千円	— 千円	— 千円	5,300,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	— 千円	5,300,000	2,448,388	1,013,340	962,000	0	473,048	0	3,983 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>R4.3: 京都府学校給食会の一般物資高騰率が8.6%</li> <li>R4.4: 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定</li> <li>R4.7: 令和4年6月分の消費者物価指数において、前年同月比+2.4%の上昇</li> </ul>			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆私立幼稚園、民間保育園、認可外保育施設、自校給食実施校への支援 21,606円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象施設: 10施設(うち実績1施設: 養老小学校)</li> <li>○対象経費: 給食食材費の高騰による給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額</li> <li>○対象期間: 令和4年9月~令和5年3月(2・3学期)</li> </ul> </li> <li>◆公立保育所、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校の賄材料費の追加 2,426,782円                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○対象施設: 10施設(うち実績10施設)                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>◆保育所分 109,013円</li> <li>◆幼小中学校分 2,317,769円</li> </ul> </li> <li>○対象経費: 給食食材費の高騰による給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額</li> <li>○対象期間: 令和4年9月~令和5年3月(2・3学期)</li> </ul> </li> </ul>					
	目 的 目 標	急激な物価高騰により給食食材費の高騰が深刻化する中、値上げが想定される給食費相当を支援し、保護者の負担増加を抑制することにより、小中学校、就学前施設において安心して給食が提供できる環境を整える。			成果	給食食材費の高騰による給食費の値上必要額を支援することにより、保護者の負担増加を抑制するとともに、小中学校、就学前施設において安心・安全な給食の提供を行った。				
期 待 される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物価高騰等により値上げが想定される就学前施設の給食費相当を支援することにより、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。</li> <li>急激な物価高騰の影響下にあっても、学校給食において現行の保護者負担額で、必要な栄養価や量などの質を保った給食を維持することができる。</li> </ul>			課 題	必要な栄養価や品質を保った安全・安心な給食提供					
	 			検 証						
担当部署				健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係 教育委員会事務局 学校教育課 学校給食・施設係	TEL	0772-45-1621 0772-45-1642		50		

事業名	事業者等原油・物価高騰対策支援事業			新規	総計重点プロジェクト	—	テーマ別戦略	—														
					施策分野	—																
R2決算	R3決算	R4当初予算	R4最終予算	R4決算額	財 源 内 訳					R5予算												
— 千円	— 千円	— 千円	70,000,000		44,645,000	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	— 千円											
— 千円				44,645,000							44,645,000				0	— 千円						
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3. 11:10月の全国消費者物価指数において、ガソリンが21.4%と大幅な上昇を記録(13年2か月ぶり)</li> <li>・R4. 2:ロシアによるウクライナ侵攻により、一段と原油価格が高騰</li> <li>・R4. 4:政府コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」策定</li> <li>・R4. 7:宮津市新型コロナウイルス感染症経済対策会議開催</li> </ul>			事業実績	<p>■事業者等原油・物価高騰対策支援金 44,645,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者 101件 4,246,000円</li> <li>・農業者以外 353件 40,399,000円</li> </ul> <p>&lt;制度概要&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>市内に事業所を有する法人及び個人事業者等 ※市税滞納者は除く ※農業者は市内に住所を有する販売農家(経営耕地面積30a以上又は年間の農産物販売金額が50万円以上)、漁業者は市内に住所を有する漁協正組員を対象</td> </tr> <tr> <td>対象経費</td> <td>事業の用に供する光熱費等(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油及び肥料代) ※ただし、水稲に係る肥料代は作付面積1a当たり2,000円とみなす。</td> </tr> <tr> <td>対象期間</td> <td>令和4年2月～令和4年12月 ※ただし、肥料代を除く光熱費は上記期間のうち任意の6月に限る。</td> </tr> <tr> <td>給付額</td> <td>対象期間に支払った光熱費等の10%(千円未満切捨て)</td> </tr> <tr> <td>限度額</td> <td>法人等20万円 個人事業者等10万円 ※市内に複数施設(支店・店舗等)を有する場合、施設ごとに上記限度額を加算</td> </tr> </table>								対象者	市内に事業所を有する法人及び個人事業者等 ※市税滞納者は除く ※農業者は市内に住所を有する販売農家(経営耕地面積30a以上又は年間の農産物販売金額が50万円以上)、漁業者は市内に住所を有する漁協正組員を対象	対象経費	事業の用に供する光熱費等(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油及び肥料代) ※ただし、水稲に係る肥料代は作付面積1a当たり2,000円とみなす。	対象期間	令和4年2月～令和4年12月 ※ただし、肥料代を除く光熱費は上記期間のうち任意の6月に限る。	給付額	対象期間に支払った光熱費等の10%(千円未満切捨て)	限度額	法人等20万円 個人事業者等10万円 ※市内に複数施設(支店・店舗等)を有する場合、施設ごとに上記限度額を加算
	対象者	市内に事業所を有する法人及び個人事業者等 ※市税滞納者は除く ※農業者は市内に住所を有する販売農家(経営耕地面積30a以上又は年間の農産物販売金額が50万円以上)、漁業者は市内に住所を有する漁協正組員を対象																				
対象経費	事業の用に供する光熱費等(電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油及び肥料代) ※ただし、水稲に係る肥料代は作付面積1a当たり2,000円とみなす。																					
対象期間	令和4年2月～令和4年12月 ※ただし、肥料代を除く光熱費は上記期間のうち任意の6月に限る。																					
給付額	対象期間に支払った光熱費等の10%(千円未満切捨て)																					
限度額	法人等20万円 個人事業者等10万円 ※市内に複数施設(支店・店舗等)を有する場合、施設ごとに上記限度額を加算																					
目的・目標	急激な原油価格等の高騰により、経費負担の上昇及び適切な価格転嫁が困難な状況にある中、原油価格等の高騰の激変緩和措置としての支援金を支給することで、市内事業所等の負担軽減と経営の安定化を図る。			成果	光熱水費等に対する支援を行うことにより、原油・物価高騰の影響を受けた市内事業者の事業継続に寄与した。																	
期待される効果等	原油価格等の高騰により厳しい経営環境にある市内事業所等の事業継続に資する。				課題・検証	原油価格の高騰等に対応する強い経営体制の確立に向けた事業者の意識改革が必要である。																
				担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係 農林水産課 農林水産係		TEL	0772-45-1663 0772-45-1626		53												

